CEATEC 2022（シーテック 2022）
（Combined Exhibition of Advanced Technologies）

会　期：幕張メッセ会場：2022年10月18日（火）～21日（金）　午前10時～午後5時
　　オンライン会場：2022年10月1日（土）～31日（月）
会　場：幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）／オンライン https://www.ceatec.com/2022/
主　催：（一社）電子情報技術産業協会（JEITA）
共　催：（一社）情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）／（一社）ソフトウェア協会（SAJ）
後　援：総務省／外務省／厚生労働省／経済産業省／国土交通省／デジタル庁
　　㈱日本貿易振興機構（ジェトロ）／（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）／
　　（国研）産業技術総合研究所（AIST）／（国研）情報通信研究機構（NICT）／㈱情報処理推進機構（IPA）／
　　㈱中小企業基盤整備機構／日本政府観光局（JNTO）／千葉県／千葉市／NHK／（一社）日本民間放送連盟／
　　（一社）日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／千葉商工会議所／米国大使館 商務部／
　　駐日アラブ首長国連邦大使館／在日インド大使館 ／駐日英国大使館 国際通商部／
　　カナダ大使館内オンタリオ州政府在日事務所／デンマーク王国大使館／
　　在日フランス大使館 貿易投資庁 ビジネスフランス／ポーランド投資・貿易庁 東京オフィス（順不同）
対　象：IT/エレクトロニクスビジネスユーザーおよび関連コンシューマ層、他
公式サイト URL：https://www.ceatec.com

幕張メッセ会場：総来場者数（参加数）：81,612人
　内訳 ：（国内入場者数（参加数）：81,048人　海外入場者数（参加数）：564人
オンライン会場：総来場者数（参加数）：30,307人
出展社数：562社
　内訳 ：（国内出展社数：416社　海外出展社数：146社）
出展参加国と地域数：27の国と地域
プレス社数：565人

■開催内容

2022年10月18日～21日の4日間にわたって開催された「CEATEC 2022」は、3年ぶりに、幕張メッセでのリアル展示が行われた。連日国内外のオンラインニュース、テレビ、新聞等で発信され、会場には8万人を超える来場者が訪れ、出展各社の展示ブースで説明を聞く来場者の熱心な姿が多く見られた。また、2022年10月1日～31日の1カ月間に渡って、100を超えるコンファレンスをオンラインで配信。延べ3万人以上が聴講した。

幕張メッセでの開催前日の10月17日には、「CEATEC 2022 ANNEX Tokyo」と題して、虎ノ門ヒルズフォーラムにてグリーンデジタル関連セッションや、内閣官房・デジタル田園都市国家構想実現会議事務局との連携による「デジタル田園都市国家構想セッション」を実施した。続けてオープングセレモニーを実施し、岸田内閣総理大臣からのビデオメッセージを皮切りに、西村経済産業大臣、柘植総務副大臣、河野デジタル大臣、日本経済団体連合会 篠原副会長よりご祝辞を頂戴し、出展者の経営幹部、大使館関係者、官公庁関係者など245名により、参加者同士の懇親を図った。

CEATEC 2022は、2019年までの20年間にわたるリアル会場での開催実績と過去2年間の完全オンラインでの開催ノウハウを組み合わせたCEATEC初のハイブリッド開催として展開。幕張メッセ会場では、感染症対策を行い、安全面に十分考慮した開催とした。

CEATEC 2022の開催趣旨は、「経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、共創によって未来を描く」としており、今回共創の取り組みの一つして展開された主催者特別展示「パートナーズパーク」には、来場者の大きな関心が集まった。会場では、日本政府が掲げる「デジタル田園都市」をテーマに、国内外の企業がパートナーとして共に展示するブースが数多く参加し、新たな共創が広がる場として展開した。

CEATEC 2022（シーテック 2022）（Combined Exhibition of Advanced Technologies）

CEATEC TOWARD SOCIETY 5.0

さらに、幕張メッセ会場には6,000名以上の学生が来場し、次世代の人材育成の場としての役割を果たすことに貢献した。一例として、主催者企画「半導体産業人生ゲーム」では、半導体産業の職種、社会貢献度などを多くの次世代来場者が体験し、アンケート回答者の98%が半導体産業に興味を持ったと回答、約半分が半導体産業に就職したい、あるいは選択肢に入れたいと回答した。

次回「CEATEC 2023」は、2023年10月17日（火）から20日（金）の4日間、幕張メッセでの開催を予定し、出展者募集は2023年1月より開始する予定である。

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

・「オンライン会場」と「幕張メッセ会場」とのハイブリッド形式での開催
・あらゆる産業・業種のパートナーとともにSociety 5.0の未来社会を体現する共創エリア「パートナーズパーク」を設置

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

・省庁・団体・大使館との連携、海外スタートアップ等を紹介するPlug and Play Japanとの連携セッションなどを多数開催